

復興への礎—阪神・淡路大震災後の一年間の六甲山系の砂防事業—

企 画：建設省近畿地方建設局
六甲砂防工事事務所
制 作：文化映画新社
完 成：1996 年 3 月
種 別：S-VHS
時 間：21 分
連絡先：建設省近畿地方建設局
六甲砂防工事事務所
調査課総合土砂災害対策係
Tel：078-851-0535

兵庫県南部地震により六甲山系には、多数の山腹崩壊が発生した。山腹の崩壊はその後の降雨による土砂災害発生の原因となり街の復興の大きな妨げとなる。この作品では、地震直後の崩壊調査から対策工事までを地元住民への広報活動をまじえながら紹介している。

今後、震災等の災害後、どのような取り組みをすればよいのか？そんな意図で制作されている。

来島大橋海中基礎—その建設に見る技術の多様性—

企 画：本州四国連絡橋公団第三
建設局 今治工事事務所
制 作：海洋架橋調査会
完 成：1994 年 3 月
種 別：16 m / m 映画
時 間：30 分
連絡先：本州四国連絡橋公団
第三建設局
今治工事事務所 工務課
Tel：0898-23-5960

本四連絡架橋のひとつである来島大橋の大規模海中基礎の設計・施工を紹介した作品。来島大橋の基礎は、「設置ケーソン」であるが、硬岩にもかかわらず爆薬を使用せずに支持地盤まで掘削により行っている。また、基礎は、地形・潮流などの施工条件により、それぞれ形状・材質・施工方法は多様性をもつ。技術者育成の教材としても、活用できるものとなっている。

来島大橋主塔建設

企 画：本州四国連絡橋公団第三
建設局 今治工事事務所
制 作：海洋架橋調査会
完 成：1995 年 3 月
種 別：16 m / m 映画
時 間：29 分
連絡先：本州四国連絡橋公団
第三建設局
今治工事事務所 工務課
Tel：0898-23-5960

世界初の三連吊橋である本州四国連絡架橋の来島大橋〔全長 4,105m〕の 6 基の主塔の建設を紹介した作品。特に塔内作業で架設可能となった「引張りボルト接合」を従来工法と対比するなど、この作品は、景観に配慮した設計思想と施工〔製作・架設〕の技術を紹介するとともに、技術者育成の教材としても活用できるよう制作されている。